

札幌市営企業調査審議会総会

日 時 平成 26 年 9 月 16 日 (火) 午後 3 時 30 分から
会 場 札幌市役所本庁舎 12 階第 1～5 号会議室

会議次第

- 1 副市長あいさつ
- 2 委員及び理事者紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 事業説明(平成 26 年度予算の概要)
- 5 質 疑
- 6 今後の運営方法の審議

資 料

- 札幌市営企業調査審議会委員 ……………資料1
- 札幌市営企業調査審議会条例 ……………資料2

事業説明資料

- 平成 26 年度交通事業 予算の概要 ……………資料3
- 平成 26 年度水道事業 予算の概要 ……………資料4
- 平成 26 年度下水道事業 予算の概要 ……………資料5
- 平成 26 年度病院事業 予算の概要 ……………資料6

札幌市営企業調査審議会委員

(五十音順、敬称略)

資料

1

足立	敬允	市民委員
油矢	紗也香	一般社団法人札幌青年会議所常任理事
大平	義隆	北海学園大学経営学部教授
岡部	聡	北海道大学大学院工学研究院教授
加藤	欽也	札幌商工会議所政策委員会委員長
川端	美樹	札幌市PTA協議会会長
木村	克輝	北海道大学大学院工学研究院准教授
今	真人	一般社団法人札幌市医師会副会長
斉田	顕彰	弁護士（札幌弁護士会所属）
齋藤	友子	株式会社まるいち代表取締役社長
笹川	貴美雄	市民委員
菅原	光宏	北海道経済連合会理事事務局長
杉山	洋勝	市民委員
高田	安春	市民委員
高野	伸栄	北海道大学大学院工学研究院准教授
高橋	結子	公益社団法人北海道看護協会専務理事
田作	淳	市民委員
徳田	禎久	北海道病院協会理事長
行方	幸代	一般社団法人札幌消費者協会理事
早坂	浩司	株式会社北海道医療新聞社常務取締役
平野	博宣	連合北海道札幌地区連合会事務局長
平本	健太	北海道大学大学院経済学研究科教授
福迫	均	北海道中小企業団体中央会専務理事
松井	佳彦	北海道大学大学院工学研究院教授
森田	久芳	市民委員
山本	裕子	北海学園大学工学部准教授
吉岡	孝修	株式会社北海道新聞情報サービス代表取締役社長

以上 27名

札幌市営企業調査審議会条例

昭和40年12月15日
条例第32号

(設置)

第1条 本市の公営企業（以下「公営企業」という。）に関する諸施策の運営に資するため、札幌市営企業調査審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、公営企業に関し、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項につき調査審議する。

- (1) 運営管理の方針に関すること
- (2) 財政に関すること
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること

2 審議会は、前項各号に掲げる事項に関し、自ら調査審議して市長に意見を申し出ることができる。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(部会)

第6条 審議会に、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会所属の委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

(会議)

第7条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、総務局において処理する。

(補則)

第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

平成26年度交通事業 予算の概要

資料

3

【軌道事業会計】

1 予算総括表	1 頁
2 業務量	2 頁
3 主要事業	3 頁
4 過去5年間の傾向	4 頁

【高速電車事業会計】

1 予算総括表	5 頁
2 業務量	6 頁
3 主要事業	7 頁
4 過去5年間の傾向	8 頁

(参考) 路面電車・地下鉄一日平均輸送人員の推移

1 予算総括表

(軌道事業会計)

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引		
	項 目	26年度予算(A)	25年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	26年度予算(C)	25年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	26年度予算 (A)-(C)=(E)	25年度予算 (B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
収益的 収支	営業収益	1,166,000	1,139,000	27,000	営業費用	1,571,000	1,336,000	235,000	△ 405,000	△ 197,000	△ 208,000
	営業外収益	406,000	211,000	195,000	営業外費用	47,000	50,000	△ 3,000	359,000	161,000	198,000
					予備費	10,000	10,000	0	△ 10,000	△ 10,000	0
	小計	1,572,000	1,350,000	222,000	小計	1,628,000	1,396,000	232,000	△ 56,000	△ 46,000	△ 10,000
	特別利益				特別損失	738,000	0	738,000	△ 738,000	0	△ 738,000
	計	1,572,000	1,350,000	222,000	計	2,366,000	1,396,000	970,000	△ 794,000	△ 46,000	△ 748,000
資本的 収支	企業債	474,000	218,000	256,000	建設改良費	2,435,000	1,562,000	873,000	↓ 収支差引(税抜)=当年度純損失 △ 824,000 △ 54,000 △ 770,000		
	国庫補助金	0	28,000	28,000	企業債償還金	154,000	139,000	15,000			
	他会計補助金	1,943,000	1,068,000	875,000	受託工事費	28,000	0	28,000			
	負担金	18,000	248,000		予備費	10,000	10,000	0			
	受託工事収益	28,000	0	28,000							
	計	2,463,000	1,562,000	901,000	計	2,627,000	1,711,000	916,000		△ 164,000	△ 149,000
当年度分損益勘定留保資金等	884,000	165,000	719,000					884,000	165,000	719,000	
合計(当年度資金過不足額)	4,919,000	3,077,000	1,842,000	合計	4,993,000	3,107,000	1,886,000	△ 74,000	△ 30,000	△ 44,000	
過年度分資金過不足額	609,433	636,433	△ 27,000					609,433	636,433	△ 27,000	
総計	5,528,433	3,713,433	1,815,000	総計	4,993,000	3,107,000	1,886,000	535,433	606,433	△ 71,000	

※ 25年度予算は24年度予算からの繰越を含んだ額である。

※ 26年度予算の過年度分資金過不足額欄は決算見込額である。

※ 26年度予算の当年度損益勘定留保資金等は減価償却費328,000千円、固定資産除却費12,000千円、長期前受金戻入△190,000千円、引当金計上額779,000千円(退職給付引当金過去分703,000千円、退職給付費当年度分41,000千円、賞与引当金35,000千円)、引当金取崩額(退職金支払額)△45,000千円を調整した金額である。

※ 金額は、消費税込みである。

2 業務量

(軌道事業会計)

区 分	26年度予算 (A)	25年度		差 引 増 減 △			
		当初予算 (B)	決算見込 (C)	当 初 予 算 対 比		決 算 見 込 対 比	
				増 減 (A)-(B)=(D)	増減率(%) (D)/(B)	増 減 (A)-(C)=(E)	増減率(%) (E)/(C)
在籍車両数	両 33	両 33	両 33	両 0	0.0	両 0	0.0
走行キロ	千Km 1,062	千Km 1,054	千Km 1,059	千Km 8	0.8	千Km 3	0.3
輸 送 人 員	年間 千人 8,094	千人 7,686	千人 7,976	千人 408	5.3	千人 118	1.5
	一日平均 人 22,175	人 21,058	人 21,851	人 1,117	5.3	人 324	1.5
乗車料収入 (一人あたり単価)	百万円 1,106 (136.64円)	百万円 1,083 (140.91円)	百万円 1,113 (139.55円)	百万円 23 (△4.27円)	2.1 (△3.0)	百万円 △7 (△2.91円)	△0.6 (△2.1)

3 主要事業

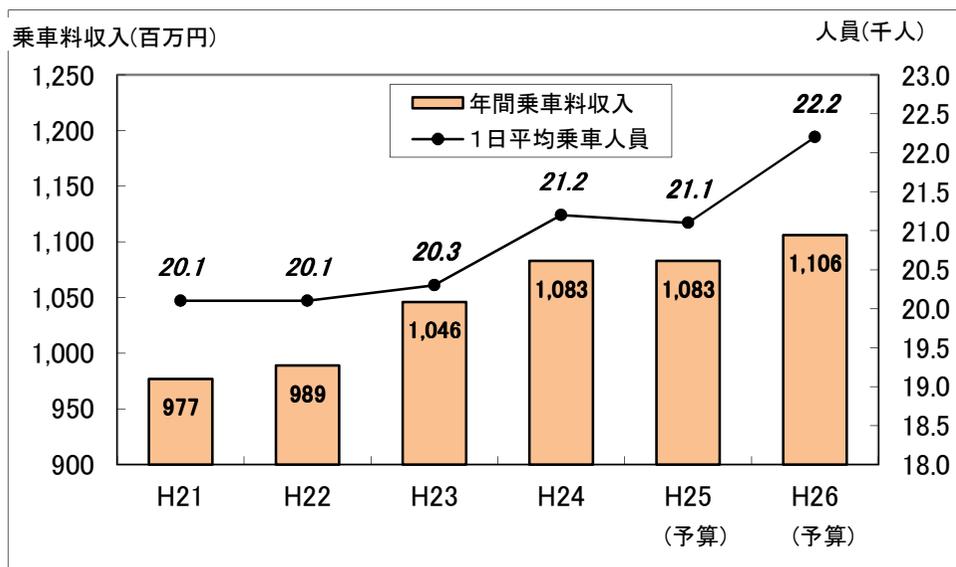
(軌道事業会計)

(単位：千円)

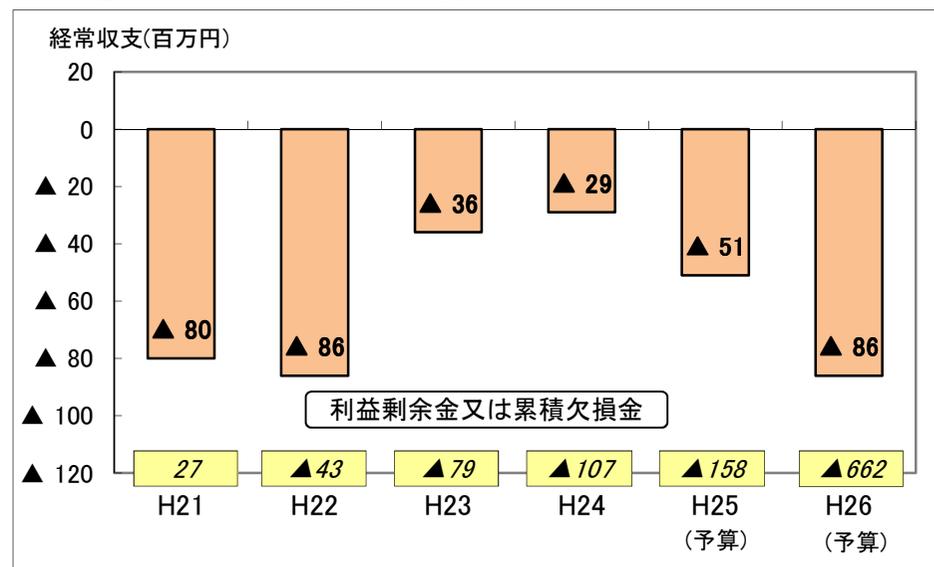
項 目	平成26年度 予 算 (A)	平成25年度 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容	
建設改良事業	2,435,000	1,562,000	873,000	建設改良事業 百万円 ＜ループ化・低床車両＞	
同 上 財 源 内 訳	企業債	474,000	218,000	256,000	ループ化工事 1,952 ループ化工事及びループ化開業に伴う準備費等 既存車両改良（ループ化対応） 56 室内灯スイッチ増設、右側バックミラー取付 低床車両改良等 31 1次車改良及び予備品購入
	国庫補助金	0	28,000	△ 28,000	＜既設線の機能向上＞ 街路拡幅事業 18 軌道敷設及び電停設備実施設計等 情報利活用システム 51 運行管理及び利用者への運行情報発信 停留場バリアフリー化工事 36 西線14条改修工事等
	一般会計補助金	1,943,000	1,068,000	875,000	＜その他＞ 運賃改定対応機器改修 16 車載器改良 その他老朽化施設改修 275 工場・車庫屋根改修、負き電線更新工事等
	負担金	18,000	248,000	△ 230,000	【参考】 受託事業（建設局） 28 狸小路商店街道路バリアフリー整備

4 過去5年間の傾向

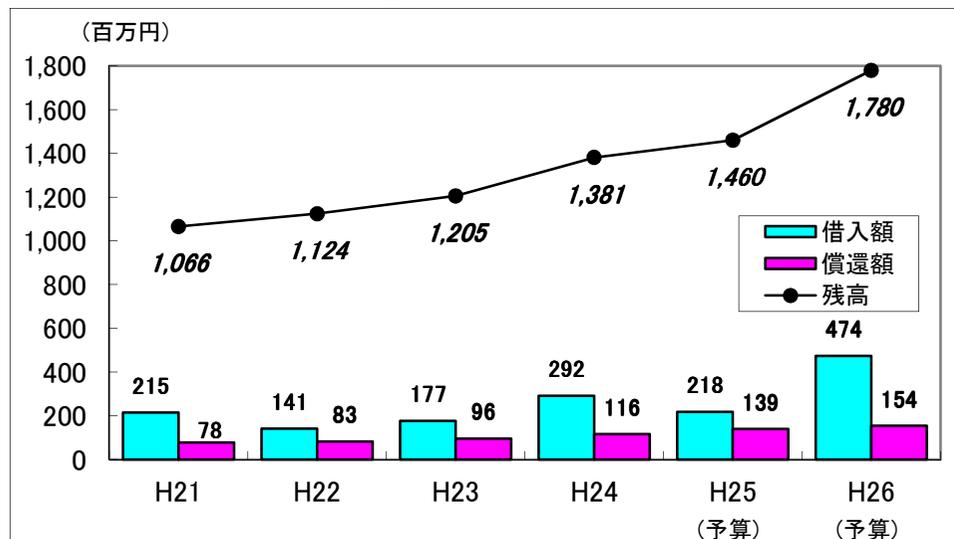
■ 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入



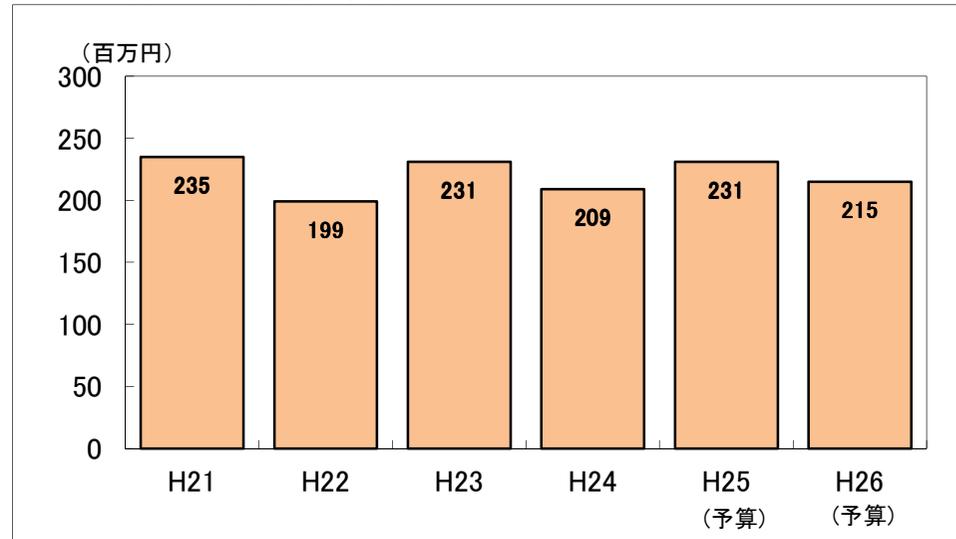
■ 経常収支と累積欠損金 (税抜)



■ 企業債 (借入額・償還額・残高)



■ 一般会計繰入金の状況



※25年度予算は補正後予算である。

1 予算総括表

(高速電車事業会計)

(単位：千円)

区分	収 入				支 出				収 支 差 引		
	項 目	26年度予算(A)	25年度予算(B)	差引増減(A)-(B)	項 目	26年度予算(C)	25年度予算(D)	差引増減(C)-(D)	26年度予算 (A)-(C)=(E)	25年度予算 (B)-(D)=(F)	差引増減(E)-(F)
収 益 的 支	営 業 収 益	40,240,000	39,719,000	521,000	営 業 費 用	33,939,000	31,992,000	1,947,000	6,301,000	7,727,000	△ 1,426,000
	営 業 外 収 益	7,368,000	7,373,000	△ 5,000	営 業 外 費 用	8,333,000	8,597,000	△ 264,000	△ 965,000	△ 1,224,000	259,000
					予 備 費	40,000	40,000	0	△ 40,000	△ 40,000	0
	小 計	47,608,000	47,092,000	516,000	小 計	42,312,000	40,629,000	1,683,000	5,296,000	6,463,000	△ 1,167,000
	特 別 利 益				特 別 損 失	5,929,000	0	5,929,000	△ 5,929,000	0	△ 5,929,000
	計	47,608,000	47,092,000	516,000	計	48,241,000	40,629,000	7,612,000	△ 633,000	6,463,000	△ 7,096,000
資 本 的 支	企 業 債	15,715,000	9,810,000	5,905,000	建 設 改 良 費	12,858,000	6,203,000	6,655,000	↓ 収支差引(税抜)=当年度純利益 △ 1,348,000	↓ 6,262,000	△ 7,610,000
	出 資 金	2,494,000	2,985,000	△ 491,000	企 業 債 償 還 金	31,387,000	34,152,000	△ 2,765,000			
	国 庫 補 助 金	119,000	228,000	△ 109,000	受 託 工 事 費	3,000	27,000	△ 24,000			
	他 会 計 補 助 金	859,000	3,194,000		予 備 費	20,000	20,000	0			
	負 担 金	2,000	4,000	△ 2,000							
	受 託 工 事 収 益	3,000	27,000	△ 24,000							
	基 金 繰 入 金	4,532,000	0	4,532,000							
	計	23,724,000	16,248,000	7,476,000	計	44,268,000	40,402,000	3,866,000			
当年度分損益勘定留保資金等	18,861,000	13,500,000	5,361,000					18,861,000	13,500,000	5,361,000	
合計(当年度資金過不足額)	90,193,000	76,840,000	13,353,000	合 計	92,509,000	81,031,000	11,478,000	△ 2,316,000	△ 4,191,000	1,875,000	
過年度分資金過不足額						0	305,000	△ 305,000	0	△ 305,000	305,000
総 計	90,193,000	76,840,000	13,353,000	総 計	92,509,000	81,336,000	11,173,000	△ 2,316,000	△ 4,496,000	2,180,000	
資本費負担緩和分企業債	2,316,000	4,496,000	△ 2,180,000					2,316,000	4,496,000	△ 2,180,000	
再 計	92,509,000	81,336,000	11,173,000	再 計	92,509,000	81,336,000	11,173,000	0	0	0	

※ 25年度予算は当初予算である。

※ 26年度予算の過年度分資金過不足額欄は決算見込額である。

※ 25年度予算の当年度損益勘定留保資金は減価償却費15,023,000千円、固定資産除却費376,000千円、長期前受金戻入△2,471,000千円、引当金計上額6,482,000千円

(退職給付引当金過去分5,629,000千円、退職給付費当年度分548,000千円、賞与引当金305,000千円)、引当金取崩額(退職金支払額)△549,000千円を調整した金額である。

※ 金額は、消費税込みである。

2 業務量

(高速電車事業会計)

区 分		26年度予算 (A)	25年度		差 引 増 減 △			
			当初予算 (B)	決算見込 (C)	当 初 予 算 対 比		決 算 見 込 対 比	
					増 減 (A)-(B)=(D)	増減率(%) (D)/(B)	増 減 (A)-(C)=(E)	増減率(%) (E)/(C)
在籍車両数		両 364	両 368	両 368	両 △ 4	△ 1.1	両 △ 4	△ 1.1
走行キロ		千Km 33,716	千Km 33,690	千Km 33,700	千Km 26	0.1	千Km 16	0.0
輸 送 人 員	年 間	千人 214,000	千人 208,000	千人 212,781	千人 6,000	2.9	千人 1,219	0.6
	一 日 平 均	人 586,000	人 570,000	人 582,962	人 16,000	2.8	人 3,038	0.5
乗車料収入 (一人あたり単価)		百万円 37,141 (173.56円)	百万円 36,622 (176.07円)	百万円 37,164 (174.66円)	百万円 519 (△2.51円)	1.4 (△1.4)	百万円 △ 23 (△1.10円)	△ 0.1 (△0.6)

3 主要事業

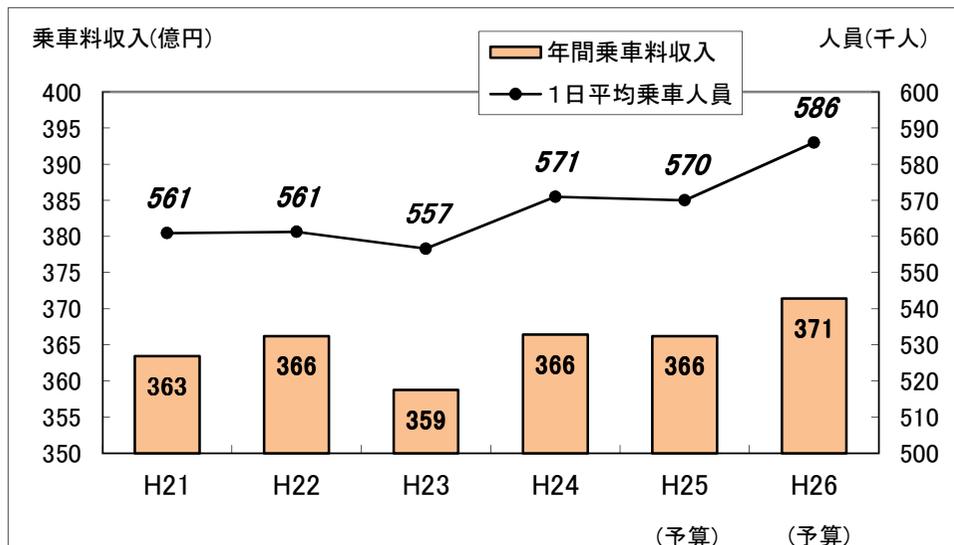
(高速電車事業会計)

(単位：千円)

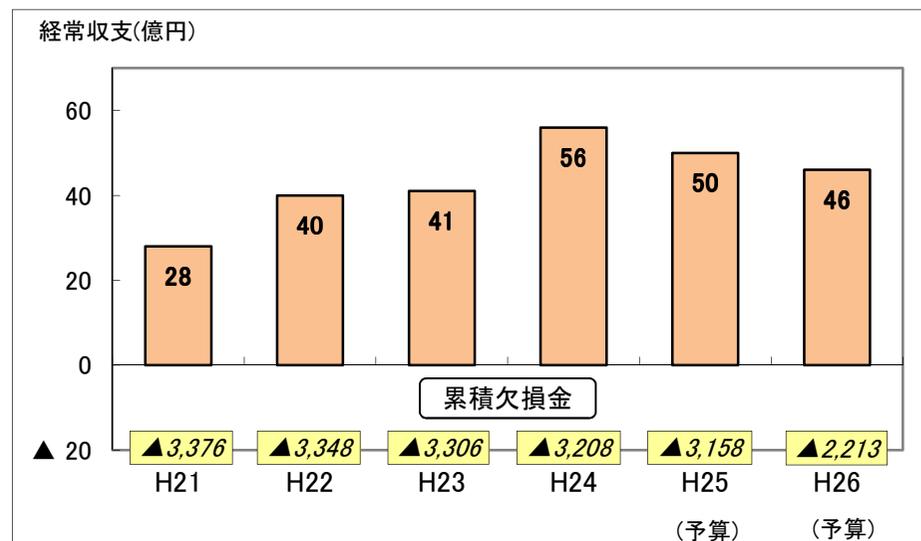
項 目	平成26年度 予 算 (A)	平成25年度 予 算 (B)	差 引 (A) - (B)	事 業 の 主 な 内 容
建設改良事業	12,858,000	6,203,000	6,655,000	建設改良事業 百万円 ＜安全の確保＞ 可動式ホーム柵関連工事 220 列車とホームの隙間からの転落防止対策工事等 東豊線車両更新 3,824 3編成及び予備品購入 南北線高架駅耐震改修工事 1,121 南平岸駅・自衛隊前駅 ホーム階防火戸等設置工事 262 北34条駅ほか4駅 エスカレーター更新 255 二十四軒駅(5台)、(設計)白石駅ほか1駅 エレベーター更新 211 琴似駅ほか3駅(9台)、(設計)栄町駅ほか4駅 ＜快適なお客様サービスの提供＞ 自動出改札装置更新 589 券売機33台 精算機16台 既設トイレの改修 68 新道東駅・豊水すすきの駅、(設計)次年度分2駅 ＜まちづくりへの貢献＞ 大通駅改良工事 494 大通交流拠点整備事業に伴う改修工事 バリアフリー関連事業 71 階段ノンスリップ全段敷設・既存手摺改修等 駅照明設備更新工事等 183 平岸駅・新道東駅・栄町駅 (設計)幌平橋ほか1駅 ＜その他＞ 運賃改定対応機器改修 745 駅務機器・定期券発行機・輸送管理システム等 その他老朽化施設更新等 4,815 琴似変電所・東基地信号保安装置更新等
同 企 業 債	9,384,000	4,258,000	5,126,000	
上 一般会計出資金	2,494,000	1,108,000	1,386,000	
財 国庫補助金	119,000	228,000	△ 109,000	
内 一般会計補助金	859,000	605,000	254,000	
記 負 担 金	2,000	4,000	△ 2,000	

4 過去5年間の傾向

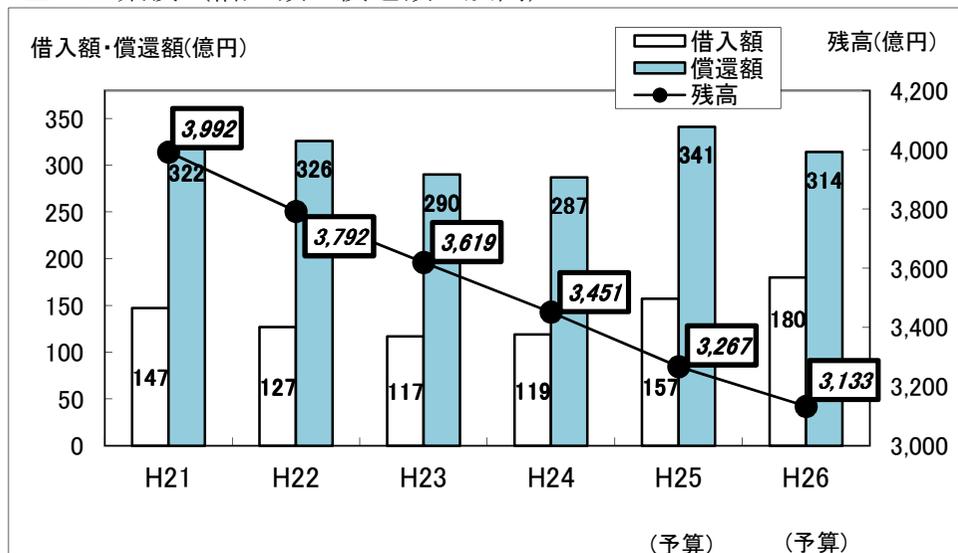
■ 1日平均乗車人員及び年間乗車料収入



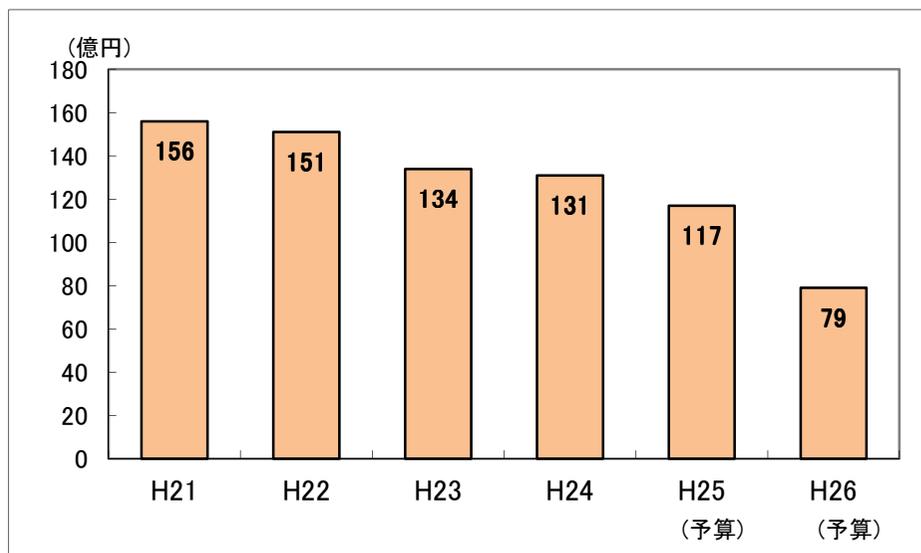
■ 経常収支と累積欠損金(税抜)



■ 企業債(借入額・償還額・残高)



■ 一般会計繰入金の状況



※25年度予算は補正後予算である。

【参考】 路面電車・地下鉄一日平均輸送人員の推移

(単位：人、%)

	路面電車		地下鉄全線							
	人 員	前年度比	人 員	前年度比	南北線		東西線		東豊線	
					人 員	前年度比	人 員	前年度比	人 員	前年度比
平成16年度	20,227	▲ 0.5	560,041	0.5	228,740	0.5	207,242	0.0	124,059	1.6
平成17年度	21,438	6.0	569,512	1.7	236,345	3.3	205,879	▲ 0.7	127,288	2.6
平成18年度	21,279	▲ 0.7	574,853	0.9	237,351	0.4	207,035	0.6	130,467	2.5
平成19年度	20,803	▲ 2.2	572,041	▲ 0.5	235,797	▲ 0.7	205,523	▲ 0.7	130,721	0.2
平成20年度	20,683	▲ 0.6	571,847	0.0	233,688	▲ 0.9	206,035	0.2	132,124	1.1
平成21年度	20,093	▲ 2.9	560,945	▲ 1.9	226,208	▲ 3.2	203,892	▲ 1.0	130,845	▲ 1.0
平成22年度	20,074	▲ 0.1	561,262	0.1	224,503	▲ 0.8	204,864	0.5	131,895	0.8
平成23年度	20,359	1.4	556,610	▲ 0.8	219,161	▲ 2.4	205,249	0.2	132,200	0.2
平成24年度	21,157	3.9	570,966	2.6	223,780	2.1	211,050	2.8	136,136	3.0
平成25年度 (予算)	21,058	▲ 0.5	570,000	▲ 0.2	222,900	▲ 0.4	210,400	▲ 0.3	136,700	0.4
平成26年度 (予算)	22,175	5.3	586,000	2.8	228,431	2.5	216,929	3.1	140,640	2.9

平成26年度水道事業会計予算の概要

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業	3
4	参 考	4

1 予算総括表

(消費税込、単位 千円)

区分	収 入			支 出			収 支 差 引					
	項 目	26年度予算 A	25年度予算 B	差引増減 A-B	項 目	26年度予算 C	25年度予算 D	差引増減 C-D	26年度予算 A-C=E	25年度予算 B-D=F	差引増減 E-F	
当年度収入及び支出	収益的収入及び支出	営業収益	43,084,000	42,156,000	928,000	営業費用	33,718,000	32,535,000	1,183,000			
		うち給水収益	<40,898,610>	<39,911,355>	<987,255>							
		営業外収益	2,642,000	154,000	2,488,000	営業外費用	3,625,000	3,860,000	△ 235,000			
						予備費用	20,000	20,000	0			
		小計	45,726,000	42,310,000	3,416,000	小計	37,363,000	36,415,000	948,000	8,363,000	5,895,000	2,468,000
	特別利益	7,162,000	2,000	7,160,000	特別損失	470,000	70,000	400,000	6,692,000	△ 68,000	6,760,000	
	計	52,888,000	42,312,000	10,576,000	計	37,833,000	36,485,000	1,348,000	15,055,000	5,827,000	9,228,000	
	資本的収入及び支出	企業債	3,000,000	3,000,000	0	建設改良費	13,474,214	10,197,008	3,277,206	↓ 収支差引(税抜) = 当年度純利益 (14,050,386) ↓ 予定処分後純利益 6,295,386	↓ (5,320,591) ↓ 2,257,591	(8,729,795)
		出資金	131,000	80,000	51,000	施設整備事業費	10,812,000	8,419,000	2,393,000			
		固定資産売却代金	105,886	0	105,886	固定資産取得費	2,662,214	1,778,008	884,206			
		補助金	811,887	485,957	325,930	企業債償還金	10,473,786	10,434,992	38,794			
		加入金	697,925	626,161	71,764	水道施設更新積立運用金	4,000,000	3,000,000	1,000,000			
		負担金	17,302	15,882	1,420	予備費用	20,000	20,000	0			
		計	4,764,000	4,208,000	556,000	計	27,968,000	23,652,000	4,316,000	△23,204,000	△19,444,000	△ 3,760,000
当年度分損益勘定留保資金等	10,394,091	12,873,975	△ 2,479,884					10,394,091	12,873,975	△ 2,479,884		
合計	68,046,091	59,393,975	8,652,116	合計	65,801,000	60,137,000	5,664,000	2,245,091	△ 743,025	2,988,116		
過年度繰越金	6,174,907	10,288,837	△ 4,113,930					6,174,907	10,288,837	△ 4,113,930		
総計	総計	74,220,998	69,682,812	4,538,186	総計	65,801,000	60,137,000	5,664,000	8,419,998	9,545,812	△ 1,125,814	
	水道施設更新積立金	4,000,000	7,000,000	△ 3,000,000	水道更新積立金	4,000,000	3,000,000	1,000,000	0	4,000,000	△ 4,000,000	
	上記以外の額	70,220,998	62,682,812	7,538,186	上記以外の額	61,801,000	57,137,000	4,664,000	8,419,998	5,545,812	2,874,186	

注1. 26年度予定処分額は7,755,000千円(減債積立金300,000千円、建設改良積立金7,455,000千円(うち資産維持費相当分1,273,000千円))。

注2. 25年度予定処分額は3,063,000千円(減債積立金500,000千円、建設改良積立金2,563,000千円(うち資産維持費相当分1,286,000千円))。

注3. 26年度予算の過年度繰越金は、25年度補正(第3号)後の額であり、25年度予算の過年度繰越金は、24年度決算置換後の額である。

注4. 水道施設更新積立金の累計額は9,000,000千円である。

注5. 26年度予算の特別利益には、修繕引当金の取崩による戻入益6,995,139千円を含む。

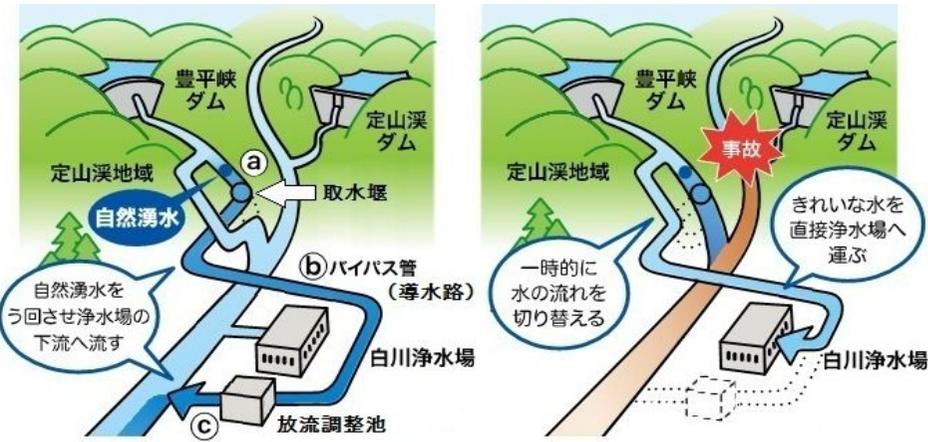
注6. 25年度補正予算第3号(資本的収入629,640千円、資本的支出2,069,000千円)については、全額を26年度に繰り越しており、本表には含まれていない。

2 業務量について

区 分		26年度予算 A	25年度		差引増減△			
			当初予算 B	決算見込 C	当初予算対比		決算見込対比	
					増減△ A-B=D	比率 (%) D/B	増減△ A-C=E	比率 (%) E/C
人 口 等	給水区域内人口 (人)	1,935,484	1,929,984	1,930,573	5,500	0.3	4,911	0.3
	給水人口 (人)	1,933,502	1,927,866	1,928,460	5,636	0.3	5,042	0.3
	普及率 (%)	99.9	99.9	99.9	0.0	-	0.0	-
	給水世帯数 (世帯)	930,387	920,824	919,375	9,563	1.0	11,012	1.2
水 量 等	年間配水量 (m ³)	190,407,000	190,065,000	190,483,000	342,000	0.2	△ 76,000	△ 0.0
	1日最大配水量 (m ³)	652,100	650,900	578,270	1,200	0.2	73,830	12.8
	1日平均配水量 (m ³)	521,700	520,700	521,900	1,000	0.2	△ 200	△ 0.0
	年間有収水量 (m ³)	176,888,000	176,380,000	176,959,000	508,000	0.3	△ 71,000	△ 0.0
	有収率 (%)	92.9	92.8	92.9	0.1	-	0.0	-
年度末給水件数 (件)		827,639	817,813	818,984	9,826	1.2	8,655	1.1
年度末配水管布設延長 (m)		5,929,711	5,902,354	5,916,535	27,357	0.5	13,176	0.2

3 主要事業について

(単位 千円)

項 目		26年度予算 A	25年度予算 B	差引増減 A-B	事 業 の 主 な 内 容
施設整備事業	導・浄水施設	675,000	798,000	△ 123,000	○導・浄水施設 豊平川水道水源水質保全事業 385百万円
	送・配水施設	3,178,000	1,879,000	1,299,000	○送・配水施設 白川第3送水管新設事業 2,065百万円 緊急貯水槽整備事業 307百万円
	配水管	6,959,000	5,742,000	1,217,000	○配水管 6,959百万円 H26布設延長 H26末総延長 幹 線 1.8km 412.9km 枝 線 他 62.8km 5,516.8km 合 計 64.6km 5,929.7km
	計	10,812,000	8,419,000	2,393,000	
財源内訳	企業債	3,000,000	3,000,000	0	● 豊平川水道水源水質保全事業のイメージ 
	国庫補助金	440,930	115,000	325,930	
	一般会計負担金	17,302	15,882	1,420	
	その他	7,353,768	5,288,118	2,065,650	
	計	10,812,000	8,419,000	2,393,000	

4 参考

■ 水道事業の経営課題

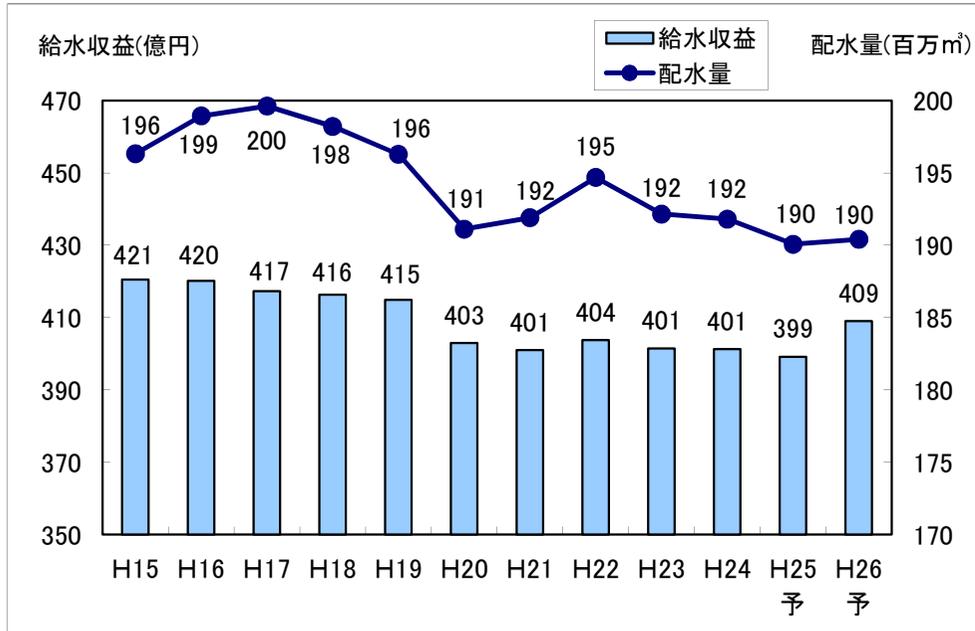
課題1 給水収益の減少

課題2 企業債の元利償還負担

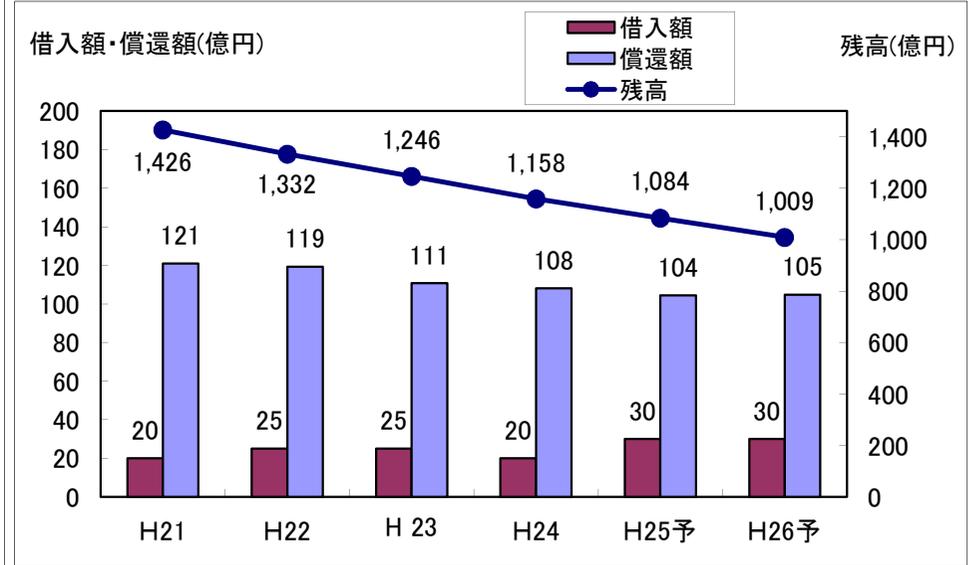
課題3 施設、管路の経年劣化への対応

課題4 災害への対応

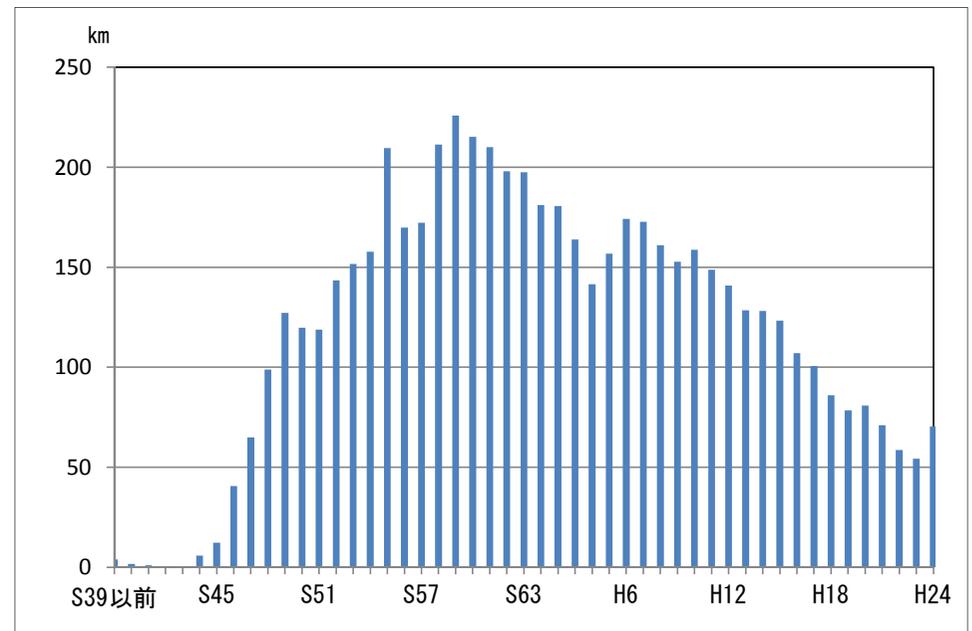
■ 給水収益と配水量



■ 企業債（借入額・償還額・残高）



■ 配水管の布設年度別延長



平成26年度下水道事業 予算の概要

資料

5

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業	3
4	過 去 5 年 間 の 傾 向	5

1 予算総括表

(単位：千円)

区分	項目	収入			項目	支出			収支差引					
		26年度予算 A	25年度予算 B	差引 A-B		26年度予算 C	25年度予算 D	差引 C-D	26年度予算 E (A-C)	25年度予算 F (B-D)	差引 E-F			
当 年 度 分 収 入 及 び 支 出	営業収益	41,440,682	40,840,153	600,529	営業費用	42,776,489	33,813,769	8,962,720						
	下水用 水道料	20,819,740	20,368,460	451,280	維持管理費	16,682,332	16,237,771	444,561						
	一般会計 負担金等	20,363,957	20,197,617	166,340	人件費	3,790,228	3,919,612	△ 129,384						
	その他	256,985	274,076	△ 17,091	経費	12,892,104	12,318,159	573,945						
	営業外収益	12,305,169	171,417	12,133,752	減価償却費等	26,094,157	17,575,998	8,518,159						
	特別利益	1,149	1,430	△ 281	営業外費用	6,674,998	6,928,429	△ 253,431						
					予備費	30,000	30,000	0						
					特別損失	5,543,513	68,802	5,474,711						
	計	① 53,747,000	41,013,000	12,734,000	計	② 55,025,000	40,841,000	14,184,000				③ △ 1,278,000	172,000	△ 1,450,000
	資 本 的 収 入 及 び 支 出	企業債	9,657,000	9,649,000	8,000	建設改良費	15,544,863	14,982,837				562,026	純損失 ↓ △ 1,971,372	純損失 ↓ △ 247,006
建設企業債		9,617,000	9,045,000	572,000	建設事業費	15,520,000	14,960,000	560,000						
資本費 平準化債		40,000	604,000	△ 564,000	その他	24,863	22,837	2,026						
国庫交付金		3,940,000	3,920,000	20,000	償還金	18,239,084	19,027,861	△ 788,777						
一般会計出資金		0	271,000	△ 271,000	水洗化等 貸付事業費	53	302	△ 249						
一般会計補助金		739,580	701,296	38,284	返還金	50,000	50,000	0						
負担金		1,079,367	1,108,402	△ 29,035	予備費	20,000	20,000	0						
水洗化等 貸付事業収入		53	302	△ 249				0						
計		⑤ 15,416,000	15,650,000	△ 234,000	計	④ 33,854,000	34,081,000	△ 227,000	⑥ △ 18,438,000	△ 18,431,000	△ 7,000			
当年度分 損益勘定留保資金等		19,465,931	17,580,998	1,884,933					19,465,931	17,580,998	1,884,933			
合計	88,628,931	74,243,998	14,384,933	合計	88,879,000	74,922,000	13,957,000	△ 250,069	△ 678,002	427,933				
過年度分内部留保資金	6,371,479	6,248,413	123,066					6,371,479	6,248,413	123,066				
総計	95,000,410	80,492,411	14,507,999	総計	88,879,000	74,922,000	13,957,000	⑦ 6,121,410	5,570,411	550,999				

(注1) 25年度予算は、当初予算である。

(注2) 過年度分内部留保資金の25年度予算は24年度決算置換後、26年度予算は25年度決算見込み置換後の数値である。

2 業務量

区 分				26 年 度 予 算 A	25 年 度 予 算 B	比 較	
						増 減 C (A-B)	増 減 率 (%) C/B
総 人 口		千人	ア	1,943	1,935	8	0.4
下 水 道 普 及 状 況	管 路 総 延 長	km		8,216.4	8,204.4	12.0	0.1
	処 理 面 積	ha		24,710	24,700	10	0.0
	処 理 人 口	千人	イ	1,938	1,930	8	0.4
	総 人 口 普 及 率	%	イ/ア	99.8	99.7	0.1	0.1
水 洗 化 普 及 状 況	水 洗 化 可 能 人 口	千人	ウ	1,938	1,930	8	0.4
	水 洗 化 人 口	千人	エ	1,936	1,927	9	0.5
	水 洗 化 普 及 率	%	エ/ウ	99.9	99.8	0.1	0.1
処 理 水 量 等	年 間 処 理 水 量	千m ³		351,825	345,416	6,409	1.9
	晴 天 時 最 大 処 理 水 量	千m ³ /日		920.6	897.2	23.4	2.6
	処 理 能 力	千m ³ /日		1,173.8	1,173.8	0	0.0
	処 理 固 形 物 量	t		55,650	55,660	△ 10	△ 0.0
	年 間 有 収 水 量	千m ³		202,225	200,317	1,908	1.0
		[家 事 用]	千m ³	143,679	141,017	2,662	1.9
		[業 務 用 等]	千m ³	58,546	59,300	△ 754	△ 1.3

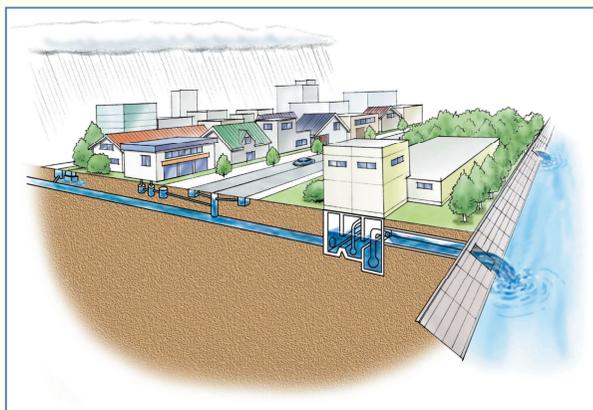
3 主要事業

施設の維持管理に関する業務	施設の建設に関する事業
総費用 (16,682百万円)	総事業費 (15,520百万円)
<p>○管路施設の維持管理 (3,466百万円)</p> <p>〔施設数〕 管理延長 8,204.4km マンホール数 214,200個 公共枿 406,200個</p> <p>〔主な費用〕 (委託料・修繕費) 管路点検等 1,567km(簡易な点検含む) 管路修繕等 4,147箇所</p> <p>○処理場・ポンプ場の維持管理 (10,385百万円)</p> <p>〔業務量〕 処理水量 351,825千m³/年 処理固形物量 55,650 t/年 焼却灰量 19,850 t/年 せせらぎ用水量 5,689千m³/年 雪対策用水量 31,654千m³/年</p> <p>〔主な費用〕 (委託料) 運転管理・汚泥処理等 (修繕費) 修繕工事等 (動力費) 電気料金・燃料代金</p> <p>○その他の経費 (2,831百万円) 下水道使用料徴収業務負担金等</p>	<p>管路整備延長 21.7km、ポンプ場 5か所、処理場等 10か所</p> <p>○一般整備 (3,023百万円) 新認定道路等に伴う管路整備、新市街地(東雁来第2)等 6.0km</p> <p>○改築 (6,722百万円) 創成川水再生プラザ等改築 老朽管対策等 6.8km</p> <p>○浸水対策 (2,903百万円) 東雁来雨水ポンプ場 雨水拡充管(東雁来地区)等 1.5km</p> <p>○地震対策 (1,781百万円) 管路の耐震化、汚泥圧送管ループ化等 7.4km</p> <p>○水質改善 (895百万円) 豊平川水再生プラザ雨水貯留ポンプ施設 合流式下水道吐口対策等</p> <p>○有効利用等 (196百万円) 西部スラッジセンター蒸気発電設備等</p>

主要事業イメージ図

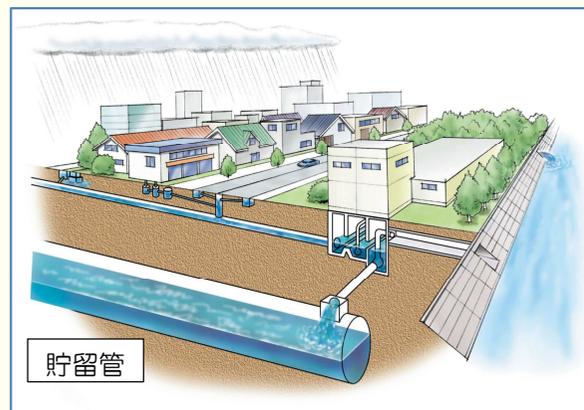
【水質改善】 雨水貯留管

改善前



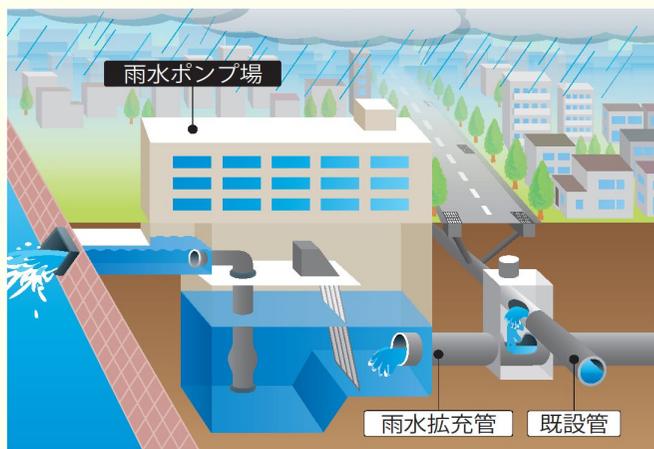
水再生プラザでは雨水を全量処理することはできません

改善後(貯留管設置後)

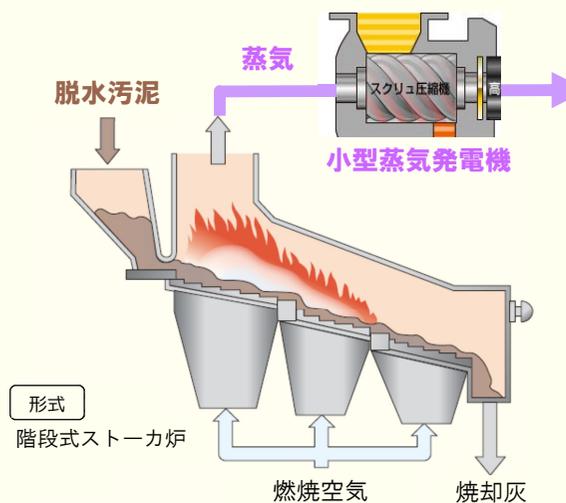


汚れた雨水を貯留管に一時貯めて処理して放流します

【浸水対策】 雨水ポンプ場、雨水拡充管

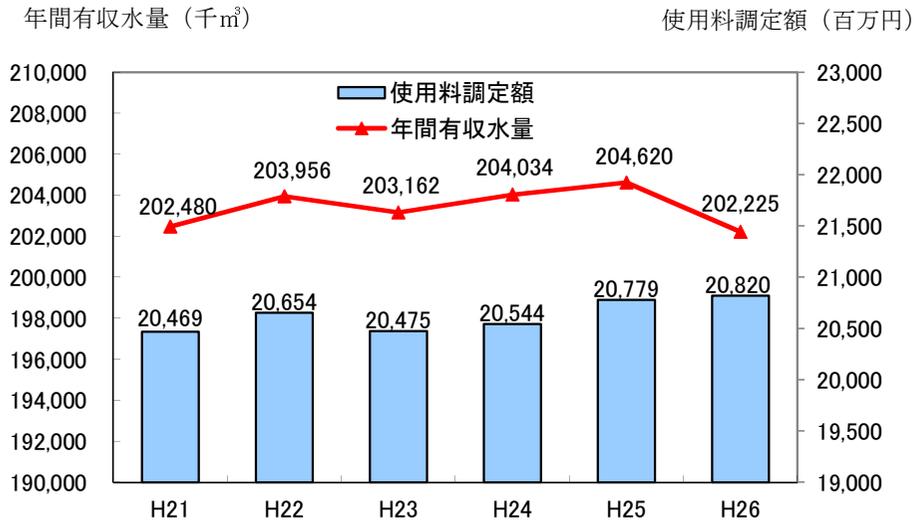


【有効利用】 蒸気発電 (未利用エネルギー活用)

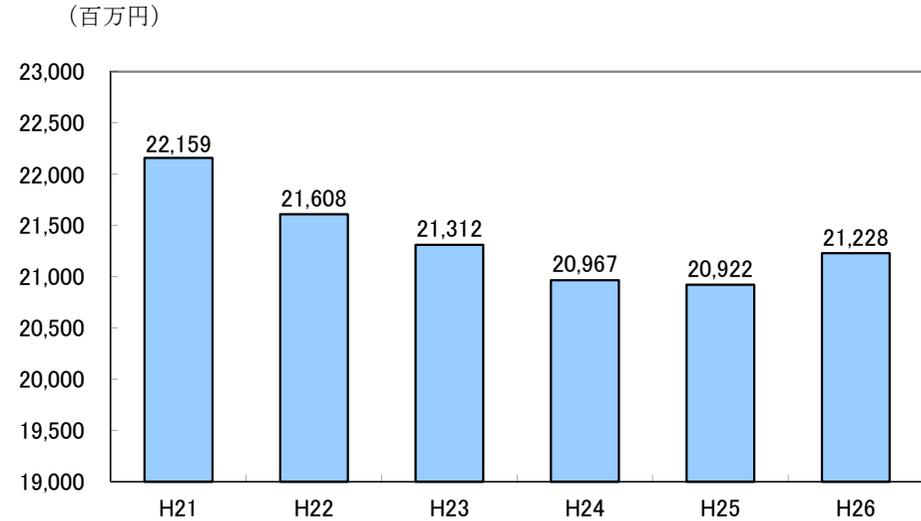


4 過去5年間の傾向 ～H25までは実績、H26は当初予算～

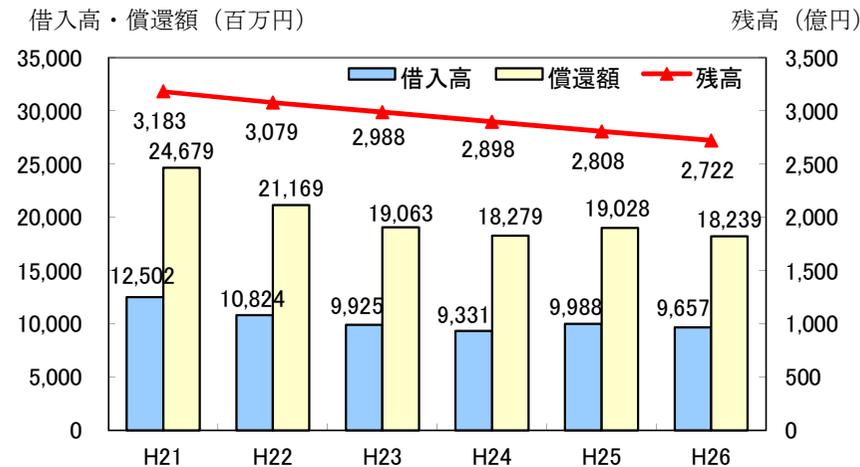
■ 年間有収水量及び使用料調定額



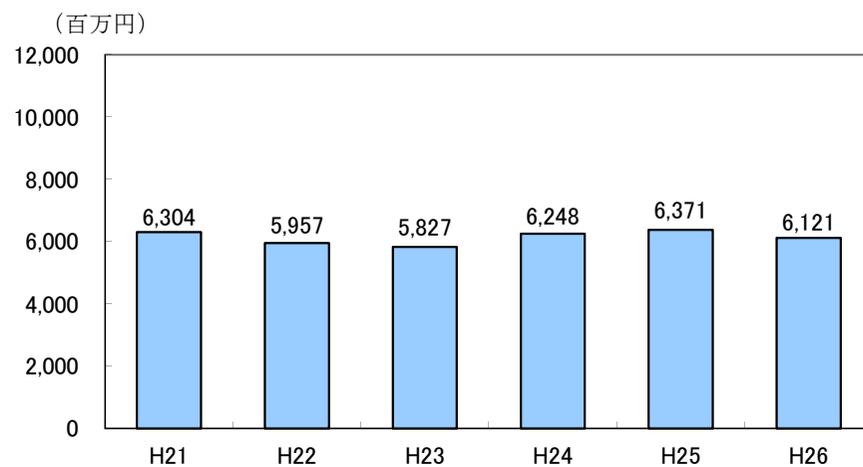
■ 一般会計繰入金



■ 企業債(借入高・償還額・残高)



■ 資金の状況



平成26年度病院事業 予算の概要

資料

6

1	予 算 総 括 表	1 頁
2	業 務 量	2
3	主 要 事 業	3
4	過 去 5 年 間 の 傾 向	4

1 予算総括表

(単位：千円)

区分	収入				支出				収支差引		
	項目	26年度予算 A	25年度予算 B	差引増減 A-B	項目	26年度予算 C	25年度予算 D	差引増減 C-D	26年度予算 A - C = E	25年度予算 B - D = F	差引 E - F
当年度 収益的 収入 及び 支出	経常 利益										
	医業収益	20,257,141	20,188,396	68,745	医業費用	21,828,402	20,994,854	833,548			
	医業外収益	2,552,927	1,859,604	693,323	医業外費用	861,786	933,169	△ 71,383			
					予備費	10,000	10,000	0			
	小計	22,810,068	22,048,000	762,068	小計	22,700,188	21,938,023	762,165	109,880	109,977	△ 97
	特別利益	448,932	0	448,932	特別損失	5,539,812	72,977	5,466,835	△ 5,090,880	△ 72,977	△ 5,017,903
	計	23,259,000	22,048,000	1,211,000	計	28,240,000	22,011,000	6,229,000	△ 4,981,000	37,000	△ 5,018,000
収入 及び 支出	資本的 収入 及び 支出										
	企業債	1,600,000	1,455,000	145,000	建設改良費	3,219,000	1,550,000	1,669,000			
	出資金	208,857	221,100	△ 12,243	企業債償還金	2,257,600	2,128,600	129,000			
	負担金	1,301,143	1,186,900	114,243	長期借入償還金	343,400	343,400	0			
					予備費	1,000	1,000	0			
	計	3,110,000	2,863,000	247,000	計	5,821,000	4,023,000	1,798,000	△ 2,711,000	△ 1,160,000	△ 1,551,000
出	当年度分損益勘定留保資金	5,569,357	1,206,960	4,362,397					5,569,357	1,206,960	4,362,397
	合計	31,938,357	26,117,960	5,820,397	合計	34,061,000	26,034,000	8,027,000	△ 2,122,643	83,960	△ 2,206,603
	過年度分内部留保資金	5,895,595	5,769,635	125,960					5,895,595	5,769,635	125,960
	総計	37,833,952	31,887,595	5,946,357	総計	34,061,000	26,034,000	8,027,000	3,772,952	5,853,595	△ 2,080,643

※ 25年度予算は当初予算である(過年度分内部留保資金のみ補正2号後の金額)

2 業務量

区分	26年度予算					25年度							差引増減				
	病床数	1日平均 患者数(人)	病床利用率 (%)	年間延患者数 A(人)	平均在院日数 (日)	病床数	予 算			決 算 見 込			予 算 対 比		決 算 見 込 対 比		
							1日平均 患者数(人)	病床利用率 (%)	年間延患者数 B(人)	1日平均 患者数(人)	病床利用率 (%)	年間延患者数 C(人)	増減(人) A-B	増減率(%) (A-B)/B	増減(人) A-C	増減率(%) (A-C)/C	
入院	一般	714	571	79.9	208,295	12.0	726	589	81.1	214,840	553	76.1	201,773	△ 6,545	△ 3.0	6,522	3.2
	救急	38	23	61.3	8,498	15.4	38	20	53.7	7,446	22	58.5	8,120	1,052	14.1	378	4.7
	小計	752	594	79.0	216,793	—	764	609	79.7	222,286	575	75.3	209,893	△ 5,493	△ 2.5	6,900	3.3
	精神	38	29	75.8	10,512	48.6	38	34	90.0	12,483	29	75.8	10,519	△ 1,971	△ 15.8	△ 7	△ 0.1
	感染症	8	0	0.0	0	—	8	0	0.0	0	0	0.0	0	0	—	0	—
	計	798	623	78.0	227,305	12.5	810	643	79.4	234,769	604	74.6	220,412	△ 7,464	△ 3.2	6,893	3.1
外来	—	1,752	—	427,523	—	—	1,808	—	441,187	1,748	—	426,622	△ 13,664	△ 3.1	901	0.2	

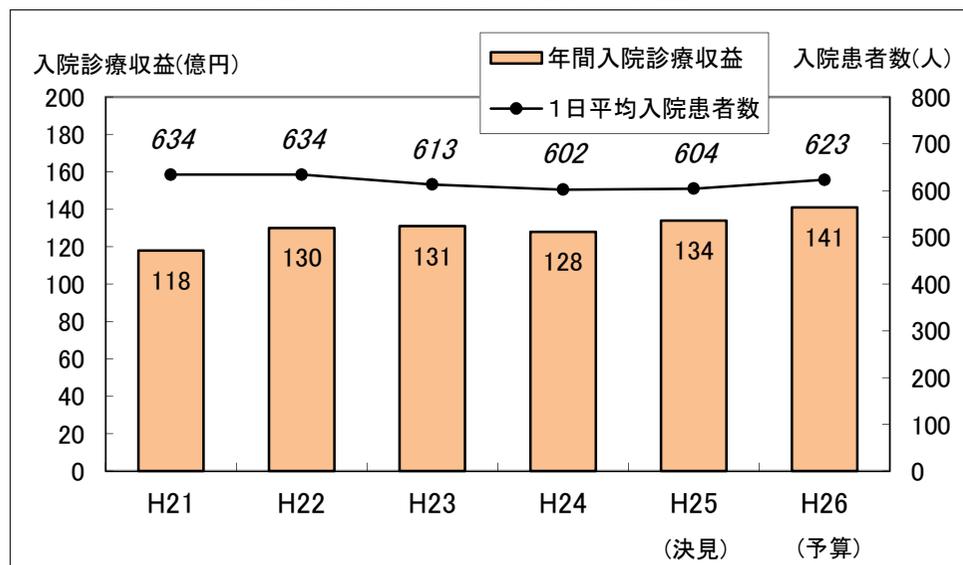
3 主要事業

(単位：千円)

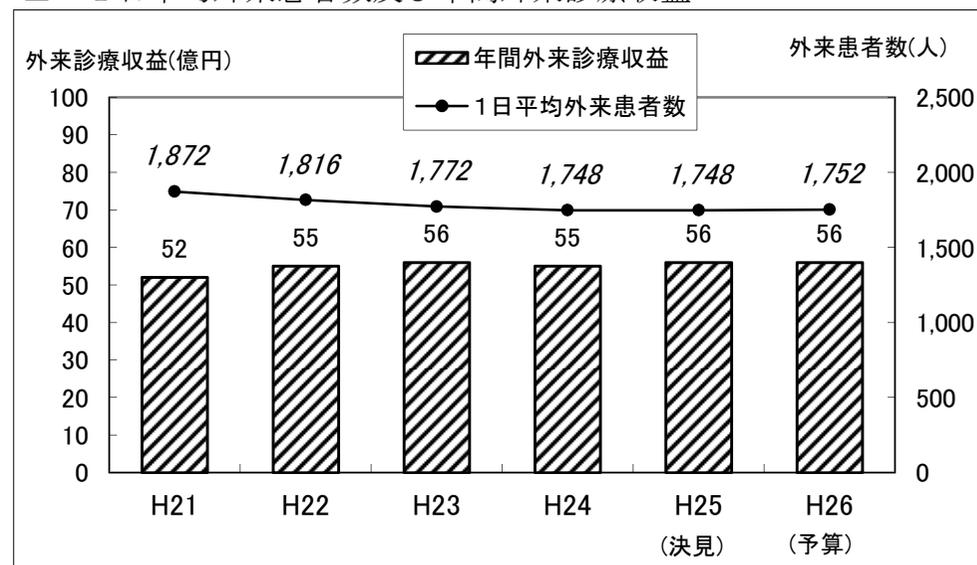
項 目	26年度予算 A	25年度予算 B	差 引 A-B	事 業 の 主 な 内 容
病 院 整 備 費	1,335,000	688,000	647,000	受変電設備増設工事、総合医療情報システムネットワーク工事など
医 療 器 械 購 入 費 等	1,884,000	862,000	1,022,000	超電導磁気共鳴診断装置、総合医療情報システム更新など
計	3,219,000	1,550,000	1,669,000	
財 源 内 訳	企 業 債	1,600,000	1,455,000	145,000
	一 般 会 計 出 資 金	20,257	32,500	△ 12,243
	そ の 他	1,598,743	62,500	1,536,243

4 過去5年間の傾向（本院）

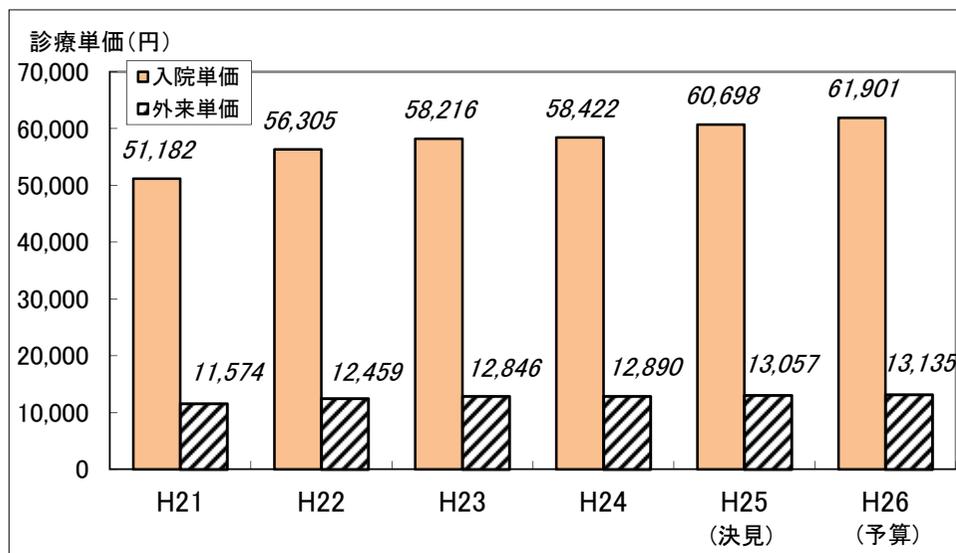
■ 1日平均入院患者数及び年間入院診療収益



■ 1日平均外来患者数及び年間外来診療収益



■ 1人1日当たり入院、外来別診療単価



■ 企業債（借入額・償還額・残高）

